

6. 津山市の健康課題と目標を達成するための戦略

データヘルス計画全体の目標：被保険者の健康寿命の延伸と医療費適正化

【目標を達成するための戦略】

健康課題	データヘルス計画の目標を達成するための戦略
課題①糖尿病や腎不全の人が多い →糖尿病、腎不全の医療費が最も高く、増加傾向にあり、血糖値の高い人の割合が県、国と比較して高くなっています。	適切な指導対象者の抽出、指導効果を高めるための指導プログラムの見直し、改善や、プログラム推進医や医師会・かかりつけ医との連携強化を図ります。
課題②メタボリックシンドローム該当者が多い →メタボリックシンドローム該当者の割合が県と比較して高くなっています。	メタボリックシンドローム該当者、予備群に対する特定保健指導利用奨励を強化し、生活習慣及び検査数値改善のため、指導手法、カリキュラムを工夫します。
課題③高血圧や心疾患、脳疾患などの人が多い →脳疾患の死亡割合が県と比較して高く、狭心症や、高血圧症の医療費の占める割合が高くなっています。血圧の高い人の割合も高くなっています。	広報物、各種教室における食生活改善、減塩などの啓発活動の継続・強化と、ハイリスク者に対する介入手法を検討します。
課題④低栄養、フレイルの疑いのある人が多い →65歳以上で、低栄養の疑いのある人が約2割います。フレイル関連疾患、特にロコモティブシンドローム罹患者が多くなっています。	事業対象者の選定、実施方法等、関係課の医療専門職が協力して、効果的に事業が実施できるような体制を構築します。
課題⑤頻繁に医療機関を受診する人や、多数の薬を処方されている人が存在する →頻回受診、重複・多剤服薬が常態化している人が一定数存在します。	医療、服薬の必要性を考慮した、適正化指導の必要性の高い対象者の抽出条件、手法を検討します。
課題⑥ジェネリック医薬品の使用率がやや低い →ジェネリック医薬品の普及率が国の目標である80%に達していません。	ジェネリック医薬品切替可能性、数量シェア向上への寄与の見込みの高い通知対象者を選定できる対象者抽出条件を検討します。
課題⑦医療機関受診が必要であるのに受診していない人が存在する →健診結果が思わしくないにもかかわらず医療機関を受診されていない人や、治療を中断している可能性がある人が一定数います。	健診未受診者の受診奨励強化、対象者の医療機関受診行動を促すような通知、架電などの効果的かつ効率的な受診奨励手法、事業内容を検討します。

7. 個別事業の実施内容と目標値

上記の戦略に基づき、事業ごとに個別の評価指標を設定し、継続的に事業の進捗・成果を評価します。

事業名称	評価指標	2022年度 (R4)実績	2029年度 (R11)目標
特定健康診査	特定健診実施率(受診率)(%)☆	35.33	60.0
特定保健指導	特定保健指導実施率(終了率)(%)☆	31.45	60.0
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(%)☆	16.67	25.00
	メタボリックシンドローム該当者割合(%)	22.40	21.0
生活習慣病の発症予防 (糖尿病、慢性腎臓病 (CKD) 等 予防対策)	糖尿病予防教室参加者数/対象者数(人)	41/896	60/900
	HbA1c が保健指導判定値以上の人の割合(%)	68.7	63.9
	高血糖者の割合(%)☆	11.75	10.05
	運動習慣のある人の割合(%)☆	42.11	45.00
糖尿病性腎症重症化予防	指導完了率(%)	93.3	100.0
医療機関受診奨励	勧奨後の医療機関受診率(%)	44.4	50.0
	HbA1c 8.0%以上の人の割合(%)☆	1.35	1.23
	HbA1c 6.5%以上の人のうち、糖尿病のレセプトがない人の割合(%)☆	13.07	12.0
	新規人工透析実施者数(人)	5	3
	血圧が保健指導判定値以上の人の割合(%)☆	49.67	48.00
フレイル予防対策	前期高齢者でBMIが20以下の人の割合(%)☆	19.39	18.56
	50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合(%)☆	74.58	78.78
適正受診・適正服薬促進	指導実施後の改善率(%)	41.2	50.0
後発(ジェネリック)医薬品推進	ジェネリック医薬品数量シェア(%)	76.0	80.0
健康インセンティブ	健康ポイント参加率(%)	30.3	40.0

☆岡山県共通指標

【お問い合わせ先】〒708-8501 岡山県津山市山北 520 番地
津山市 環境福祉部 医療保険課 電話:0868-32-2071

津山市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び 第4期特定健康診査等実施計画【概要版】

1. データヘルス計画とは

データヘルス計画とは医療情報や、特定健康診査データ等から津山市国民健康保険被保険者の健康課題を分析し、Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)のPDCAサイクルに沿い、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画です。

本市においては、平成27年3月に「津山市国民健康保険データヘルス計画(第1期)」、平成30年4月に「第2期津山市国民健康保険データヘルス計画及び第3期津山市特定健康診査等実施計画」を策定し、現行計画の期間が終了することから、「津山市国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画」を策定しました。

本計画は、生活習慣病対策をはじめとして、被保険者の健康の更なる保持増進及び疾病予防の取組を効果的かつ効率的に実施することで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小、将来的な医療費の適正化を目指すものです。

2. 計画期間

本計画の計画期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。計画期間の前半、後半の各3年を目処とし、計画期間の中間時点で進捗状況の確認と中間評価を行います。

3. 実施体制・関係者連携

本計画の策定にあたっては、被保険者の健康の保持増進を図り、病気の予防や早期回復を図るために、医療保険課が中心となって、関係課(健康増進課及び高齢介護課等)の協力を得て、保険者の健康課題を分析し、計画を策定します。計画に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施して、個別の保健事業や計画の評価をし、必要に応じて計画の見直しや次期計画に反映します。

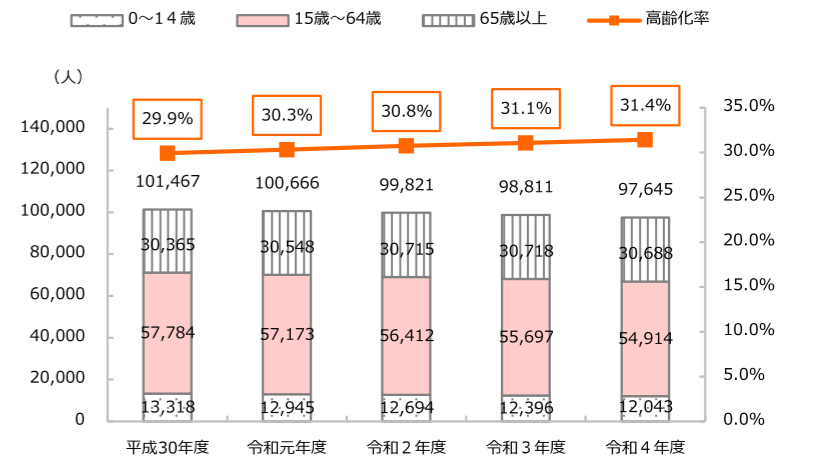
岡山県(美作保健所)や岡山県国民健康保険団体連合会と連携を図り、現状分析のために県が保有する健康・医療等に関するデータの提供及び、適宜、適切な助言を求めます。

また、津山市医師会、津山歯科医師会、津山薬剤師会、被保険者の代表等が委員となる津山市国民健康保険運営協議会等から意見を集約し、計画の策定と円滑な計画の推進を図ります。

4. 津山市国民健康保険の特性

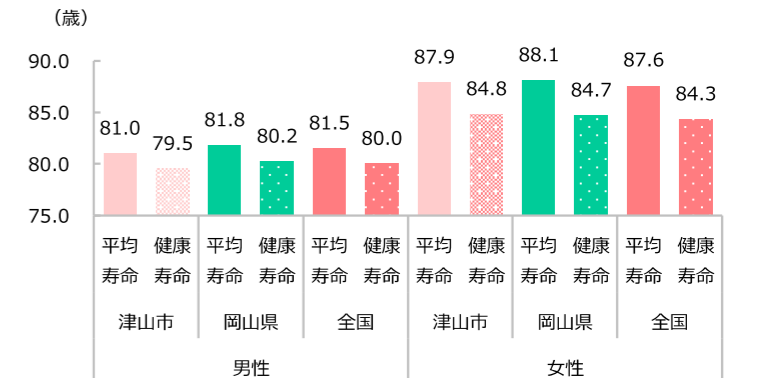
【人口・高齢化率の推移】

総人口は毎年減少傾向にあり、令和4年度で97,645人となっています。また、65歳以上の人口については平成30年度と比べて増加しており、高齢化率は令和4年度で31.4%となり、増加傾向です。



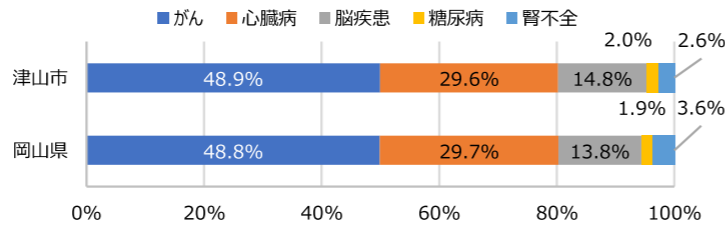
【平均寿命・平均自立期間】

令和3年度における平均寿命・健康寿命をみると、男性の平均寿命は81.0歳、健康寿命は79.5歳で、岡山県・全国に比べて短くなっています。女性においては、平均寿命は87.9歳、健康寿命は84.8歳で、岡山県・全国とほぼ同水準となっています。



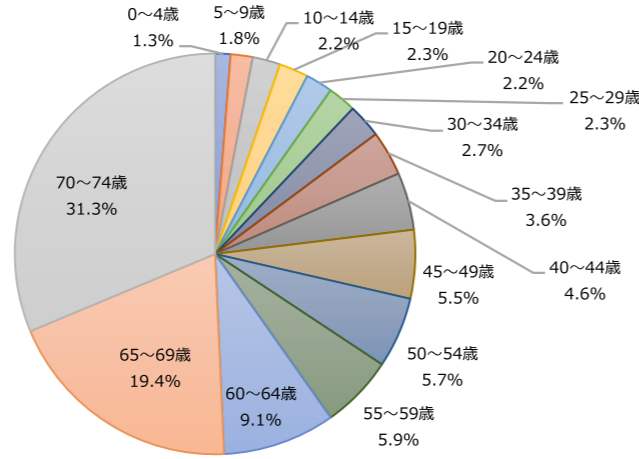
【死因別死亡割合】

令和 4 年度の死因別死亡割合をみると、がんは 48.9%で岡山県とほぼ同水準で、心臓病についても 29.6%と、岡山県とほぼ同水準となっています。脳疾患は、14.8%と、岡山県の 13.8%と比べて高くなっています。



【被保険者の年齢階級別構成比】

年代別に令和 5 年 6 月時点の国民健康保険加入者の構成比をみると、国民健康保険加入者は 60 歳以上 75 歳未満が構成比の約 59.8% となっています。

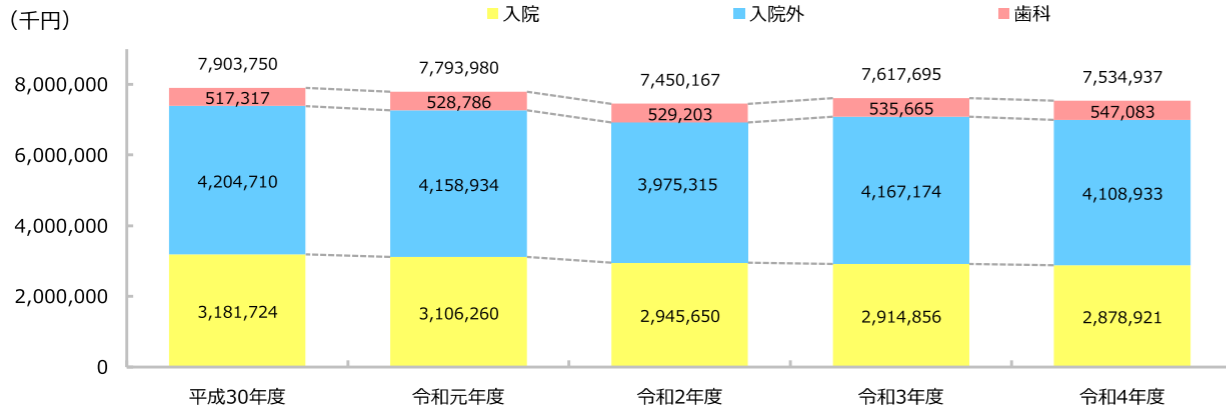


5. 健康・医療情報の分析結果

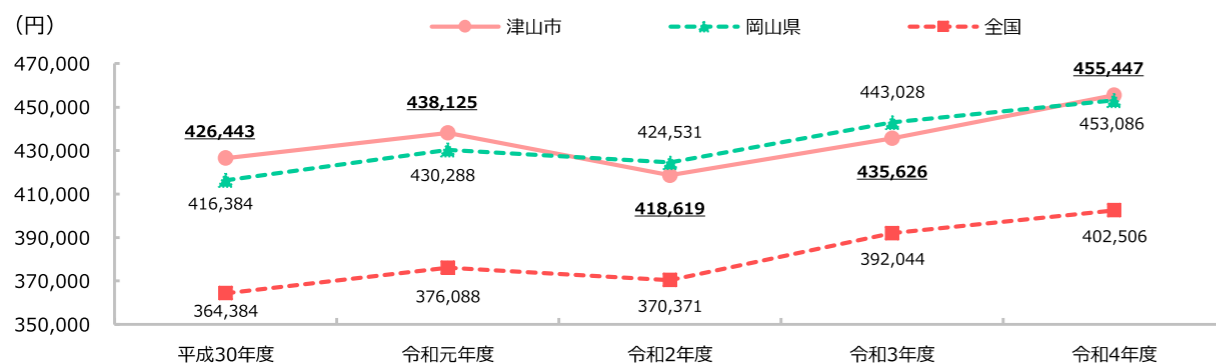
【医療費の状況】

医療費は平成 30 年度から令和 4 年度にかけて減少しており、令和 4 年度の医療費は約 75 億 3,494 万円となっています。また、被保険者 1 人当たり医療費は、平成 30 年度と令和 4 年度を比較すると増加しています。令和 4 年度の全体 1 人当たり医療費は 455,447 円で、全国・岡山県より高くなっています。

<医療費の推移>



<被保険者1人当たり医療費の推移>



【主要疾病中分類別医療費構成比率・医療費上位 10 位疾病中分類 (全体)】

令和 4 年度の主要疾病中分類別の医療費構成比を岡山県・全国と比較すると、狭心症(2.6%)、高血圧症(6.2%)、脂肪肝(0.3%)、糖尿病(12.8%)について、岡山県・全国よりも高くなっています。また、令和 4 年度の疾病中分類別に医療費、レセプト件数、1件当たり医療費について、医療費上位10疾患をみると「糖尿病(1位)」、「腎不全(2位)」、「その他の心疾患(4位)」、「高血圧性疾患(7位)」などの生活習慣病関連疾患が上位となっています。

【主要疾病中分類別医療費構成比率】

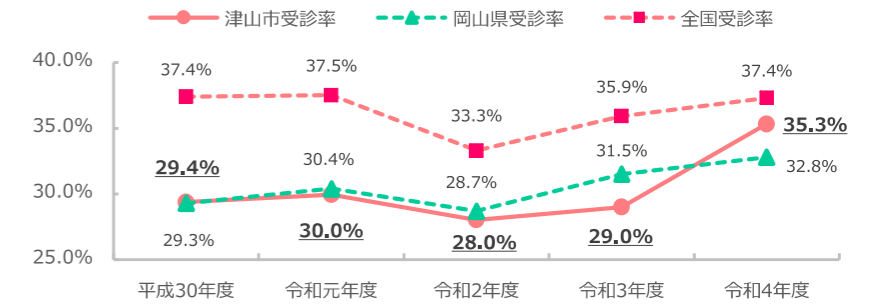
疾病中分類	津山市 (%)	岡山県 (%)	全国 (%)
がん	30.1%	31.2%	32.0%
狭心症	2.6%	2.0%	2.1%
筋・骨格	15.4%	15.8%	16.6%
高血圧症	6.2%	5.5%	5.8%
高尿酸血症	0.1%	0.1%	0.1%
脂質異常症	3.8%	3.8%	4.0%
脂肪肝	0.3%	0.2%	0.2%
心筋梗塞	0.7%	0.7%	0.7%
精神	14.7%	14.8%	15.0%
糖尿病	12.8%	11.0%	10.4%
動脈硬化症	0.2%	0.3%	0.2%
脳梗塞	2.3%	2.6%	2.7%
脳出血	1.1%	1.3%	1.3%
慢性腎臓病(透無)	0.4%	0.6%	0.6%
慢性腎臓病(透有)	9.3%	10.0%	8.3%

順位	疾病中分類	医療費 (千円)	レセプト件数 (件)	1件当たり医療費 (円)
1	糖尿病	2,517,287	80,701	31,193
2	腎不全	2,423,302	7,015	345,446
3	その他の悪性新生物<腫瘍>	1,997,460	8,489	235,300
4	その他の心疾患	1,838,581	24,893	73,859
5	その他の神経系の疾患	1,390,855	29,201	47,630
6	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	1,315,875	16,364	80,413
7	高血圧性疾患	1,302,539	96,333	13,521
8	その他の消化器系の疾患	1,271,969	31,339	40,587
9	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	909,359	18,739	48,528
10	骨折	838,696	6,013	139,480

…県、全国より高い

【特定健康診査受診率の推移】

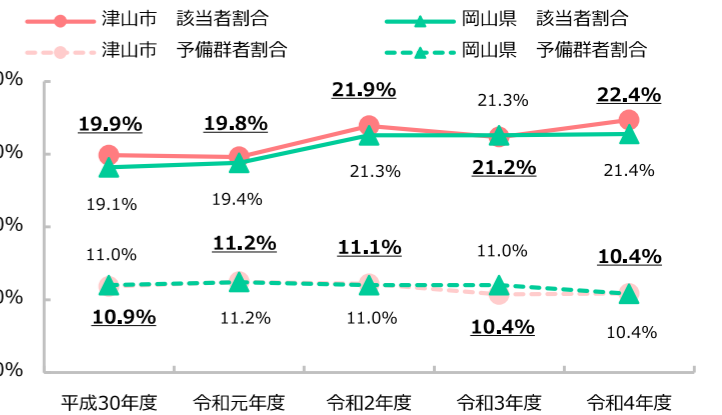
特定健康診査の受診率は、平成 30 年度から令和 4 年度にかけて 5.9 ポイント上昇しており、岡山県と比較すると高い水準となっています。



【メタボリックシンドローム予備群・該当者の状況】

メタボリックシンドローム予備群者の推移は減少傾向で、令和 4 年度の予備群者割合は 10.4% となっており、岡山県とほぼ同水準となっています。メタボリックシンドローム該当者の推移は増加傾向で、令和 4 年度の該当者割合は 22.4% となっており、岡山県と比べて多くなっています。

また、令和 4 年度のメタボリックシンドローム予備群者・該当者の状況を性別にみると、該当者割合、予備群者割合ともに男性の方が女性と比較して顕著に高くなっています。



【特定健康診査結果状況】

令和 4 年度の特定健康診査結果の各項目について、有所見者の割合を示しました。「HbA1c(68.7%)」が最も高く、次いで「収縮期血圧(47.3%)」、「LDL コレステロール(47.1%)」となっています。HbA1c については、岡山県・全国と比較して、有所見者割合が高くなっています。

